

病院だより

友の会会長の卒寿記念講演会

新庄徳洲会病院

(山形県)

1月17日、当院健康友の会の須藤喜一郎会長に講演を行っていただきました。須藤会長は、大正10年生まれで昨年90歳になられ、平成13年から友の会会長を務めてくださっています。会長から戦時中の経験を伺うたびに、「これは後世に残しておかねばならない」と常々思っていました。



掃射の攻撃を受けたことや終戦はパラオ諸島で迎えたことなど、当時の生々しい体験を語られました。

須藤会長は、「戦争というものは、残酷です。どんなことがあるうとも戦争なんかはしっちゃあいかん」とおっしゃっていました。小隊長としての戦争を最後まで戦い抜かれた。機銃掃射の攻撃では、盾となっていた自分に当たるべき弾が陰にいた部下に当たってしまったそうです。小隊で亡くなられた方は、その1人だけ。優れた危機管理能力と統率力、そして何より強運の持ち主であることを感じました。

講演録をご希望の方は、当院までご連絡ください。
事務長 成田政彦

甘納豆の小袋で豆まき！

湘南鎌倉総合病院

(神奈川県)

2月3日、院内保育園施設「なかよし保育園」で甘納豆の小袋を使った豆まきをしました。

園児たちは、自作のお

面をかぶった鬼役の子を、目掛けて豆をぶつけます。夢中で投げている最中、1人の子どもが自分のお面を取って「先生かぶつて」と言うので先生がそ

けられ逃げ回る羽目になりました。

食べたくなつたのか、途中で豆まきをやめて「先生、開けて」と一言。「食べるのは後でね。まず鬼をやっつけよう！」というやりとりもあって、楽しい行事になりました。

45人の子どもたちから集中攻撃を受けた2人の先生は、本気で反撃していましたがとうとう逃げ出したようです。そして、皆で大きな声で「福は内



！と福を呼び込んで終了しました。この日は鬼がいなくなり、みんない子になったようでした。

園長 山田陽子

地元高校生の職場体験学習

岸和田徳洲会病院

(大阪府)

当院は、地域貢献の一環として、中学生と高校生の職場体験学習を受け入れています。今回は、普段見る機会のない院内設備を公開して、皆さん

に病院業務を身近に感じてもらおうと考えました。2月4日、府立久米田高等学校の生徒さん16人が来院。全員が将来、看護師やコメディカル(医師・看護師以外の医療専門職種)など、医療分野の職に就きたいという夢をもっています。

看護部をはじめリハビリ科や放射線科、臨床検査科などそれぞれが希望する



部署を回り、病院の現場での仕事ぶりを見学しました。皆さん、事前に学校で病院の仕組みなどを学んでから来られたようで、礼儀正しく、笑顔で元氣よく患者さんや職員に接していました。

見学後の質疑応答では、鋭い質問が飛びました。答える山上美恵子看護師長やコメディカルの各所属長の言葉に熱心に耳を傾け、医療への関心をさらに深めたようです。

ある生徒さんからは、「医療の実情を見ることができ、将来の夢をかなえたいという思いが強くなりました」との感想をいただきました。自分の進むべき道が、一層明確に描かれたことでしょう。近い将来、一緒に仕事ができることを期待しています。

総務課 貴志真吾